

玖珠町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2025

1 目標

玖珠町耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化を促進するため、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に耐震診断の実施及び耐震改修等による耐震化を促していく。

耐震診断を行う診断士や改修事業者に対しては、技術力の向上や改修コストの縮減を図るためのノウハウの共有等により、本町の状況を踏まえた取組を行うことが重要である。

このため、玖珠町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム(以下「アクションプログラム」という。)を作成し、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を評価するとともに、プログラムを見直し、改善を図ることで、住宅の耐震化を強力に推進していく。

2 位置付け

アクションプログラムは玖珠町耐震改修促進計画に位置付ける

3 取組内容・目標・実績

2025年度取組内容

【財政的支援】

- i) 住宅の耐震診断費に対する補助を実施(2025年度より補助金額を)
- ii) 住宅の耐震改修費(補強設計費等を含む)に対する補助を実施(2025年度より定額補助となった)

【普及啓発等】

- i) 住宅所有者に対する直接の啓発
 - ホームページ等を通じて、訪問による個別相談の希望者を募集し、状況により耐震アドバイザー制度を活用し、簡易診断と補助制度の説明を行う。
- ii) 耐震診断実施済みの所有者に対する耐震化の意思確認
 - 前年度以前に耐震診断実施済みの所有者に、電話等により改修の意向を確認し、最適な補助制度等の説明を行う。
 - 2025年度耐震診断を行う所有者に対し、診断完了時に改修に向けた意向調査及び補助制度等の情報提供を行う。
- iii) 改修事業者の技術力向上等
 - 大分県建築物総合防災推進協議会とともに改修設計及び工事事業者向けに耐震改修工法に関する技術力向上やコスト縮減のための研修を年1回実施する。
 - 大分県が推進する木造住宅リフォーム達人塾の施工者への積極的な周知
- iv) 町民への周知啓発
 - リーフレット等により耐震化の必要性の周知を図る。
 - 町のアプリ、ホームページ等により補助制度を周知する。
 - 町役場窓口等においてリーフレットを配布する。

2025年度目標

- 木造住宅耐震診断補助戸数(6)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(1)戸
- 戸別訪問の実施戸数(5)戸(簡易診断等による)

前年度までの実績

2024年度(令和6年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(3)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸

2023年度(令和5年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(1)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(1)戸

2022年度(令和4年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(3)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(1)戸

2021年度(令和3年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(4)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸

2020年度(令和2年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(2)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸

2019年度(令和元年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(2)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(1)戸

2018年度(平成30年度)

- 木造住宅耐震診断補助戸数(6)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸

2017年度(平成29年度)以前

- 木造住宅耐震診断補助戸数(14)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(3)戸

前年度(2024年度)取組実績

- 町役場窓口等においてリーフレットの配布による町民への周知
- 玖珠町アプリへの補助制度の掲載による町民への周知
- ホームページへの補助制度の掲載による町民への周知

前年度(2024年度)の課題

□耐震改修件数は目標通りとなったが、耐震診断件数が、目標件数(5件)を下回った。

改善策

□日常業務に合わせ町民への周知を積極的に行い、加えて診断士に対し、リフォーム相談に合わせて耐震診断を行っていただくよう働きかけを依頼する。特に町内の耐震診断から耐震改修まで可能な工務店へ働きかける。

計画

自己評価